



私の国の女性

-教育と女性-

-私も女だ(LGBT)-

報告者： 孫婉榛(ソンエンシン)

たいわん

台湾はどこか知っている？



台湾は世界マップでほぼ見えないほど小さい国だけど、ここに暮らしている人々は全世界から全ての自由、権利、力を認められている。

皆に優しい社会を作るため、昔から色々な議題に関心を持つ人たちは長い間ずっと社会運動をした。

今、完璧な社会とは言えないけど、時代に合わせた制度が段々作られているのはいいことだと思う。

教育 と 女性

1911

● 中華民国(台湾)は建国して、今年で112年目になった。この111年の間で、社会構造が激しく変わったことがある。

1940S

この時期は国民政府が台湾に来たばかりだったので、社会的、政治的な事件があって、また世界大戦もあって、非常に混乱の時期だった。

1950S

この時代は、産業は農業を中心としていた。多くの人々が貧乏だった。また、戒厳令のため、社会は不安定な状態だった。

1950年代の末までは、社会が不安定だし、多数の人が貧しい生活を送っていたし、**学校に行くのは難しかった。**

その当時の**女性**は、結婚した後当然家で家事をするはずなので、**勉強の必要性がないと考えられていた。**

だから、学校に行かないで、農業や家事を助けたほうがいいとされた。



教育 と 女性

1960S
~
1970S

この時代に、産業の中心が農業から工業に変わって産業や経済は急速に発展していった。重要な経済成長の時期だった。



1968年に政府は義務教育を9年（中学校）に伸ばした。それは産業の発達により**技術と労働力のニーズが高まった**からであり、女性の就学率が上がった。女性の高等学校と専門学校の数も増えた。

1980S

1949年から1987年までの38年間は戒厳令のため、学術、芸術、文学や政治の話が禁止されていた。だが、長年我慢していた社会学者や組織は戒厳令の撤廃を求めた。社会運動が始まった。

1982年はまだ戒厳令の時期だったが、呂秀蓮が担当した「**女性開化雑誌出版社**」が設立された。女性主義や婦女問題などを社会に意識させ、これは**中華民国で最初の女性運動だ**と思われる。

中華民国で女性初の副大統領



呂秀蓮

教育 と 女性

1990S

~

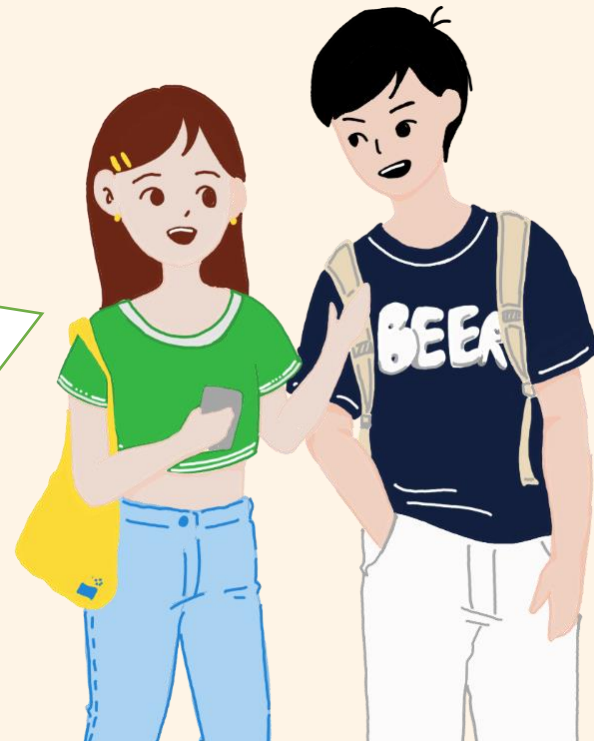
戒厳令を解除したため、色んな主張が出てきて、今も多元的な社会を目指して進んでいる。

1994年までの統計により、女性の小学校の就学率は99.8%に上がった、中学校の就学率は50%に上がった。

女性の就学率が上がったのはいいことだけど、1990年代までの教科書に載せた性別の話について、女性はいい家庭の主婦であることが理想とされた。その**ステレオタイプに女性たちは縛られていた**。

1990年代の末から、教科書に載せた性別の内容については、男性主義を中心にした「**両性教育**」から、「**性別平等**」に変わっていく。教育のおかげで、その時から色んな女性に関する社会運動と議題が注目されている。

今は、「12年義務教育」に伸ばしたが、男性でも女性でも、多く人は、高校までではなくて**大学に入学**して、就職する。結婚した後男女の役割はまだ伝統的な思いが残っているけれど、女性の社会地位がこれより上がってきた。



どんな政策でも決してわけもなしに生まれたのではない。

その前には必ず重大な歴史的イベントがあり、その上、特定のイデオロギーや政治立場があるはずだ。

政治的雰囲気、文化的および経済的状况に対して通常、共同で影響を与える特定の人々がいる。彼らがある政策の様態、発展と結果に影響を与える。

-Educational Policy and the Politics of Change(1997/2/13)



LGBT—私も女だ

2019年5月24日に中華民国（台湾）がアジアで初めて同性婚を認めた国になった。

そのため、

性別が簡単に生理的な「男」と「女」だけではないということをわかってほしい。

女性は色々な姿がある。

社会的な性別	男性	女性
生物学的な性別		
男性		♂♀
女性	♂♀	♀

身体的性が女性で性自認が男性の方は「男」と認められるべきだが、例えば、病院に行く時、身体的性が女性なので、女性のための治療法を行う方が良い場合もあるはずだ。



ユーチューバーの小A辣さんは元々の身体的性が男性だった。性自認が「女性」だと思うから、手術を受けて女性になった。

日本でも大人気なIT大臣の唐鳳さんは身体的性が男性だけど、性自認は「女性」と思っている。手術を受けなくても、「女性」と認められるべきだ。



私の考え：

今の社会では、「自分が女性か男性か」この確認はあまり必要がないと思う。人間として愛の権利、結婚の権利、自由の権利や生きる権利など全ての権利があれば、性別には関係ない。

言葉で「MALE/男性」と「FEMALE/女性」を見ると、ある程度のステレオタイプがあるだろう。もし、「男女」を「人間」に変えれば、もっと自由になれるだろうか。

ご清聴ありがとうございました